

別紙 3

評価項目及び評価基準

1 評価点

評価点の算出方法は、次の合計点数とする。

$$\begin{array}{rcl} \text{技術審査点数} & + & \text{価格審査点数} & = & \text{合計点数} \\ (500 \text{ 点満点}) & & (100 \text{ 点満点}) & & (600 \text{ 点満点}) \end{array}$$

2 評価項目及び評価基準

選定委員 1 人当たりの技術審査点の配点は 100 点とする。また、表 1 評価項目及び配点（以下「表 1」という。）に示す評価項目ごとに、表 2 評価基準（以下「表 2」という。）で示す基準により評価し、各選定委員が項目ごとに算出した点数の合計を技術審査点数とする。なお、各評価項目の点数及び技術審査の点数の計算方法は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 各評価項目の点数＝表 1 の各項目の配点×表 2 の評価による配分率
 ※小数点第 2 位まで求める（小数点第 3 位以下は切り捨てる。）。
- (2) 技術審査点数＝前号で算出した各評価項目の点数の合計
 ※小数点第 2 位まで求める（小数点第 3 位以下は切り捨てる。）。

表 1 評価項目及び配点

評価項目	評価内容	配点
実績・業務実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローン、A I を活用した作付調査の実績等があり、そのノウハウ等を十分に活かせることが期待できるか ・業務遂行体制、技術者や資格保有者等の配置は妥当か 	30
提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市の方針を捉えた提案か ・業務の目的を達成できる提案か ・先進性に優れているか 	20
行政効率化の実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローン、A I 活用による現地確認時間の短縮が期待できるか ・判別結果と営農計画書との突合作業の効率化は期待できるか 	30
将来性	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的な判別する作物の増に対応できる拡張性は規定できるか ・中山間地域におけるドローン・A I 活用による現場確認効率化は期待できるか 	20
合計		100

※合計点数が、配点の 6 割を下回る場合には、優先交渉者として選定しない。

表2 評価基準

評価	評価内容	点数の算出方法（配分率）
A	特に優れている	配点×100%
B	優れている	配点×75%
C	普通	配点×50%
D	やや劣る	配点×25%
E	劣る	配点×0%

3 価格審査の点数化方法

価格審査の配点は、100点とする。価格審査における価格審査点数は、次の式によって算出する。

（例）

$$\text{価格審査点数} = (\text{最低見積価格} / \text{提案価格}) \times 100 \text{点}$$

※少数点第3位以下は切り捨てる。

4 同点の場合

審査の結果、最も合計点数が高い者が複数あるときは、審査委員の多数決により優先交渉者を選定する。